

＜表2＞前進した主な県民要求

	事業内容	予算額(百万円)	
		新年度	前年度
医療	<b>●医師確保対策の強化</b> ▽県外の医師等を県職員として採用し、公的病院に派遣（ドクタープール事業） ▽県内医療機関の小児科、産婦人科への勤務を希望する研修医に月20万円貸与等	93	-
	<b>●がん診療連携推進病院の整備</b> ▽がん治療の拠点病院がない萩、長門両地域に、拠点病院に準じた体制を整備	63	
	<b>●肝炎治療特別促進事業</b> ▽ウイルス性肝炎のインターフェロン治療に係わる医療費を助成 ▽対象はB型、C型ウイルス性肝炎患者 ▽所得階層別に1ヶ月の自己負担限度額（上位5万、中位3万、下位1万円）を上回る額を助成	363	
私立学校	<b>●私立学校運営費補助</b> ▽高校全日制340,500→343,500（+3千円） ▽幼稚園 184,000→186,000（+2千円）	6,670	6,741
	<b>●私立学校耐震化促進事業</b> ▽全国最低の私立学校の耐震化を促進するため、耐震診断経費、改築経費に助成 ▽耐震診断経費（1棟300万円）について、国、県、学校が3分の1負担 ▽耐震改築経費＝対象経費の6分の1を補助	26	
障害者支援	<b>●障害者自立支援特別対策事業</b> ▽国の基金を活用し、各種の支援施策を実施するとともに、事業者の経営基盤強化対策を講じる ▽月払いから日払いへの移行に伴う報酬額の減額等に対する激減緩和措置 ▽重度障害者を受け入れているケアホームに対する助成 ▽新体系への移行に伴い生じる施設の改修経費への助成	526	
	<b>●就労奨励サポート事業</b> ▽自己負担導入による利用控えに歯止めをかけ、利用者の就労意欲を高めるため、通所授産施設が行う取り組みを支援 ▽就労奨励金＝施設の平均利用料と平均工賃との差額相当（1人4千円まで） ▽就労の質の向上＝作業環境の改善等に必要経費（1施設40万円まで）	15	20